

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和55年7月15日 第14報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	40		
(藍) <i>Phormidium sp.*</i>	80		
(藍) <i>Lyngbya limnetica*</i>	320	○	
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	40		
(渦) <i>Glenodinium sp.</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	60		
(緑) <i>Quadrigula chodatii</i>	20		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	120		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Closterium sp.</i>	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	40		◎
(藍) 藍藻綱	440	31.0	5.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	40	2.8	0.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.4	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	4.2	4.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	860	60.6	90.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1420	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	2.44E+06
種類数	11		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Lyngbya limnetica*</i>	320

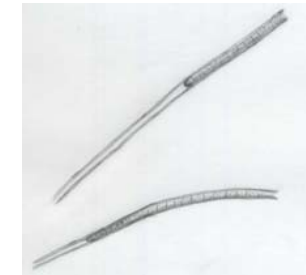
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。  
琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Lyngbya limnetica***  
(リングビア)  
藍藻綱

糸状体を形成し、細胞は細いサヤの中に入っている。見逃しやすい種である。